

環境方針等	EA21 要求事項	環境目標	活動計画	行動の責任部署	監視測定責任部署	備考
キャンパス環境の改善		分かり易い環境マネジメントシステムの運用を図る。	1. 引き続き新体制での内部監査を実施する。	EMS推進室	EMS推進室	
		上田キャンパス内に生物多様性の保存地域を設定する。	2. 引き続き自然共生サイトへの登録を検討する。	EMS推進室	EMS推進室	
エネルギーの使用	二酸化炭素排出量の削減	2030年のCO2排出量を2013年度比で50%削減目標を構成員全体への周知を図る。	1. 実行計画1)を周知する。	EMS推進室	EMS推進室	
		LED設置率を2025年度から2ポイント上げる。	2. LEDへの更新を図る。	施設課	EMS推進室	
		PPA方式による太陽光発電施設の設置について検討する。	3. オンサイトPPA方式による太陽光発電施設設置のための基本情報を収集する。	施設課 カーボンニュートラルWG	EMS推進室	
		調達電力の再生可能エネルギー割合を検討する。	4. 調達電力に占める再生可能エネルギー比率の設定に向けた検討を行う。	カーボンニュートラルWG	EMS推進室	
		環境取組チェックリストを積極的に活用する。	5. 引き続き環境取組チェックリストの取り組み内容を精査する。	全ユニット	EMS推進室	
グリーン購入		グリーン購入実績のデータをもとに、コピー用紙、コピー機使用量及び印刷外注の軽減を図る。	1. 各部局のコピー用紙、コピー機の使用量及び印刷外注の件数や印刷数量等の現状を把握し、DX化を踏まえた軽減策を検討する。	経理課 全ユニット	EMS推進室	
廃棄物等の排出	廃棄物排出量の削減	リサイクルの推進に向けた取組みを行う。	1. リサイクルの技法をポスターで呼びかけたり、SNSで発信したりすることで、学内の分別意識向上を図る。	EMS学生委員会	EMS推進室	
環境教育 環境人材教育	環境に関する教育 (環境人材の育成)	構成員に対し環境課題に関する情報発信を行う。	1. EMS学生委員会の関心を踏まえ、再生可能エネルギーの社会的受容をテーマとした環境セミナーを開催する。	環境教育WG	EMS推進室	
		効果的な環境人材育成履修モデルを図る。	1. 地域協創教育センター「イーハトーブ協創コース」環境人材育成履修モデルにおける関連選択科目を開講し、地域協創マイレージ正課外活動対象プログラムを実施する。	環境教育WG	EMS推進室	
		学部生への効果的な環境教育を実施する。	1. 「岩手大学環境マネジメントシステム(EMS)2026年度教育研修計画書」に掲載されている学部生を対象とした環境教育研修を実施する。	環境教育WG	EMS推進室	
		附属幼稚園では、花や野菜の栽培等を通して、植物が育つ環境について関心をもつ活動を行う。	1. 花の栽培や野菜作りで水やりや草取りなどの世話をする。それらを通して、自然の美しさ、豊かさ、不思議さなどに気づいたり、成長する様子に関心をもったり、命の大切さを感じたり、収穫の喜びを味わったりする。	附属幼稚園	当該ユニット責任者	
		附属小学校では、「総合的な学習の時間」等を活用し、自然観察や地球温暖化の学習など環境について学ぶ場を創る。また、委員会やたわわり活動を通して、環境に配慮した活動を行う。	1. 各教科の学習において、身の回りや地球規模の環境問題について理解を深め、自分のできることを主体的に考え、表現する活動を推進する。 2. 委員会活動等を通して、通年での校庭の石拾いはじめ、夏季の草むしり、秋季の落ち葉はき、冬季の除雪作業など、季節に応じた環境整備活動に継続的に取り組む。	附属小学校	当該ユニット責任者	
環境教育 環境人材教育	環境に関する教育 (環境人材の育成)	附属中学校では、環境を守りはくむ心と感受性を育て、環境美化活動エネルギーの節約等に配慮した生活・行動を実践できるよう指導する	1. 生徒会活動による校地及びその周辺の清掃・環境美化活動を行う。 2. ボランティア委員会による附属幼稚園等の清掃・環境美化活動を行う。	附属中学校	当該ユニット責任者	
		附属特別支援学校では、作業学習等で使用する原料のリサイクル化を推進するとともに、委員会活動や生徒会活動における資源回収を通して環境活動を実施する。	1. 空き缶、古新聞等の「資源回収」を全校に呼びかけると共に、回収状況を提示し、より一層のリサイクル意識の形成を図る。 2. ベットボトルキャップの汚損状況に応じた仕分けを行い、より効率的に洗浄活動を行う。また、回収業者へキャップを持ち込む活動も継続して実施する。	附属特別支援学校	当該ユニット責任者	
		EMS学生委員会では環境活動を積極的に実施する。	1. これまでの環境活動を精査し、PDCAサイクルに基づき継続する活動についての改善を図る。	EMS学生委員会	EMS推進室	
			2. 教職員が学生委員会の活動に積極的に参画し活動内容を共有する。	EMS学生委員会 学生活動支援WG	EMS推進室	

環境方針等	EA21 要求事項	環境目標	活動計画	行動の 責任部署	監視測定 責任部署	備考
・環境関連 研究	研究及び地域 や社会への還元	環境関連研究の見える化を図る。	1. 引き続き、段階的情報発信整備に向け、発信情報の受け手を想定し、試験的に環境関連研究の情報を発信し効果を検証する。	環境研究推進WG	EMS推進室	
		各学部・研究科の特色を活かした環境関連研究を推進する。	1. 人文社会科学部としての総合科学的な環境関連研究を推進する。	人文社会科学部	EMS推進室	
			2. 学校現場などの教育実践への活用や地域ニーズに応える環境関連研究を推進する。	教育学部	EMS推進室	
			3. ソフトパス理工学の理念に基づき、ソフトパス理工学総合研究センター及び学部・研究科における持続可能な社会づくりに向けた理工学分野の環境関連研究を推進する。	理工学部	EMS推進室	
4. 農学部と獣医学部は農林漁業並びに畜産業の発展に資す環境関連研究を推進する。	農学部・獣医学部	EMS推進室				
・構内事業者の取組		放送大学岩手学習センターにおいて環境に配慮した取組を実施する。	1. 放送大学学生に環境保全活動の啓発を推進する。	放送大学岩手学習センター	当該ユニット責任者	
		プラスチックごみの削減に努める。	1. 学食BENTOリリパック容器の研究室、ゼミでの集団回収を実施する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	
		食品残渣のリサイクルを検討する。	2. 調理加工済みの食品残渣リサイクルに向けた方法を引き続き検討する。	岩手大学生協	当該ユニット責任者	
・地域社会 に対する取組	社会貢献	持続可能な漁業に向けた取組を行う。	1. 地域でのイベント等で機会があれば、本キャンパスでの研究や調査などで得られた知見を活かし、講演や発表、展示等を行う。	釜石キャンパス	EMS推進室	
		環境活動結果の効果的な情報発信	1. 環境活動結果の効果的な情報発信方法について他大学の環境報告書を研究する。	環境教育WG	EMS推進室	
			2. サステナビリティ開示としてのわかりやすさ・データの豊富さと『統合報告書』との差異化について戦略企画室と意見交換を行う。	環境教育WG	EMS推進室	
		環境報告書の信頼性の向上を図る。	1. 環境報告書の信頼性の向上を図る方法について他大学の環境報告書を研究する。	環境教育WG	EMS推進室	
・法規制 順守		法規制に関わる製品の購入・使用・廃棄時には法規制遵守評価シートによる確認を行う。	1. ボイラー、フロン類使用製品の購入・使用・廃棄時には法規制遵守評価シートによる確認を行う。	全ユニット	EMS推進室	

1) 若手大学がその事務及び事業に関し温室効果ガスの排出の削減等のため実行すべき措置について定める計画